

平成30年4月6日

～創立100周年（H35年）へ向けて～

安達高校の挑戦

◇ ＜100周年へ向けての本校の針路＞

『まゆみの精神』の継承と ユネスコスクールとしての発展

◇ ＜今後の重点目標＞

1 文武両道の実践

- 生徒一人一人の進路希望実現を目指すために、何事にも積極的に取り組む生徒を育成する。
 - ・ 授業の質のさらなる向上を図る。生徒の言語活動を充実させることにより主体的に取り組む態度を育成する。
 - ・ キャリア教育の充実を図り、進路希望の実現を目指す。（課外学習、進路別見学会、小論文指導 など）
 - ・ 部活動においては、全国大会・東北大会への出場を目指す。

2 ESD 活動の充実・発展 ～ユネスコスクールの活動を通して～

- 「総合的な学習の時間」を活用し、本校独自の ESD 活動を発展させる。
 - ・ 国際理解、環境問題、エネルギー問題、食・フードなど ESD（持続可能な開発のための教育）活動の充実を図るため、課題解決型学習に取り組み、その学習内容を公開 ESD 発表会で発表する。
 - ・ ユネスコスクールに関する様々な研修会、研究会に積極的に参加し、本校の取組を広く発信する。
 - ・ 国際理解教育をさらに充実させるため、海外の高校生等との交流会を開催するとともに、本校生の海外研修を推進する。

3 まゆみの精神の継承

- 先輩から脈々と受け継がれた「まゆみの精神」を継承するとともに、本校の新たな取組を構築し、新しい安達高校を目指す。
 - ・ 福島の復興に取り組む、地域へ貢献する人材の育成を図る。（人材育成）
 - ・ 思いやりにあふれ、こころ豊かでたくましい人間の育成を図る。（人間形成）
 - ・ ボランティア活動等に積極的に取り組み、地域で活躍できるリーダーの育成を図る。（ボランティア活動の推進）